

一般社団法人日本医療薬学会
2019年度第5回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2019年10月3日（木） 13時00分～16時40分

二．開催場所： 日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 山本 康次郎、千堂 年昭

理 事： 青山 隆夫、井関 健、伊藤 清美、大谷 壽一、川上 純一、
河原 昌美、吉光寺敏泰、崔 吉道、武田 泰生、寺田 智祐、
望月 真弓、宮崎 長一郎、山田 清文

監 事： 大森 栄、山元 俊憲、安原 真人

陪席者

顧 問： 木平 健治、佐々木 均、山本 信夫、和田 一夫

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子

欠席者

副会頭： 山田 安彦

理 事： 出石 啓治、佐藤 淳子、峯村 純子

顧 問： 五十嵐 邦彦

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 16名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 2019年度第4回定例理事会議事録の確認

議長より、本年8月2日に開催された2019年度第4回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 協議事項

(1) 第11回臨時社員総会資料への対応・諸事項の確認

1) 2020年度事業計画案

崔理事より、2020年度事業計画案について、前回理事会での議論を受けて再整備を図ったこと、続いて本計画案に係る具体的な内容が説明された。協議

した結果、本理事会の協議事項に本計画案に直接関わる複数の案件が含まれているため、原則として本計画案は了承されたが、本理事会の協議を受けて本計画案を確定させることとなった。

2) 2020年度予算案

川上理事より、2020年度予算案について、後程、本理事会で協議する2020年度に開始される新事業や組織改編等に関わる収支などを組み入れた予算案であること、また本理事会での協議結果に鑑み、本予算案の修正を図ることが説明された。協議した結果、事業計画案と同様に本予算案は了承されたが、本理事会の協議結果によっては修正対応を図ることとなった。

3) 総会資料、進行、学会賞表彰式、会場レイアウト等の確認

議長より、総会資料案を基に議事次第及び議題毎に資料の内容が確認され、協議した結果、概ね了承となった。また、総会及び学会賞表彰式の議事進行のスケジュールや会場のレイアウト等についても了承された。

(2) 創立30周年記念行事に係る検討、運営委員会の編成

議長より、前回理事会で了承された創立30周年の記念事業に係る検討事項として、第30回本学会年会前日の2020年9月19日(土)に名古屋市内において、記念シンポジウムと祝賀会を開催すること、また小冊子等の発行などを検討する方針が説明された。また、本事業の実施にあたり創立30周年記念事業委員会を編成し、委員長を山田副会頭に、構成メンバーとして奥田会頭、千堂及び山本両副会頭、崔、川上、山田(清)、井関、吉光寺、佐藤、武田、宮崎及び望月各理事とすることや今後も必要に応じてメンバーを追加する方針が説明された。協議した結果、本件は了承された。

(3) 2019年度がん専門薬剤師 新規申請の受験資格審査結果

河原理事より、2019年度がん専門薬剤師の新規認定申請に係る書面審査結果として、今年度は98名から申請があり、79名にがん専門薬剤師認定試験の受験資格を認めるという審査結果が説明された。また、当該79名の他に前年度の本試験に不合格となった8名を加えた87名が今年度のがん専門薬剤師認定試験の受験対象者となることが付け加えられた。協議した結果、本件は了承された。

(4) 各認定制度の見直し・新たな認定制度の創設、関連規程の策定・改正、

各認定制度関連委員会の設置及び委員の新規・追加委嘱

寺田理事より、これまでの理事会で継続的に審議してきた各認定制度の見直しに係る説明があった。前回理事会から本理事会までに進展した議論として、認定制度を運営する組織体制、各制度の規程及び細則の新設又は改正案、認定申請に係る手数料の見直し案、地域薬学ケア専門薬剤師制度の概要などが説明された。続いて、新たな組織体制として、①専門薬剤師育成委員会を専門薬剤師制度運営委員会として改組し各認定制度を統括する位置づけとすること、②中小療養病床

専門薬剤師制度検討 WG、③専門薬剤師制度支援システム検討 WG、④地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会の各委員会を新設すること及び委員を委嘱すること、また、現行の認定薬剤師認定制度委員会、薬物療法専門薬剤師・認定薬剤師試験問題小委員会及びがん専門薬剤師認定制度委員会の各委員会に新たな委員を追加委嘱することなどが説明された。また、11月3日に開催する第11回臨時社員総会の報告事項として、また第29回年会の2日目に「専門薬剤師育成委員会から重要なお知らせ」と題して、各認定制度の見直しに係る説明を行うため、その際の情報開示についても触れられた。協議した結果、各規程及び細則案を除き、概ね了承された。なお、各規程及び細則案は一部の見直しが図られ、次回の理事会までに確定させる予定であることが申し添えられた。

(5) 委員会細則の改正

崔理事より、前協議事項で審議され新設が認められた各委員会及びワーキンググループの活動にあたって、委員会細則の改正の必要性が説明された。なお、今回の改正では、新設された委員会等の追記にとどめ、来年4月の委員会編成の改編を前に本細則を再整備したいという考えが述べられた。協議した結果、本改正は了承された。

(6) 旅費規程の改正

事務局より、本学会の活動に要する旅費の合理的な算定かつ明瞭化を進めることを目的とする旅費規程の改正と、旅費規程と旅費規程細則を統合し後者を廃止する主旨の説明があった。従来の鉄道利用時の移動距離や所属地域に鑑みた算定基準を改め、移動時間を基準にした算定方法に変更すること、多様な料金体系となっている航空運賃の支払いについて、合理的に支給できるよう航空機運賃の領収証に基づく精算払い方式を導入すること、またパッケージ旅行の利用ができるようにすること、さらに宿泊費を値上げすることなどが説明された。協議した結果、本改正は了承され、本年11月1日から適用することとなった。なお、本規程は本学会の年会には適用しない。

(7) 新たな表彰制度、現行表彰制度の諸規程の改正

山本副会頭より、前回理事会での議論を受けて再検討した新たな表彰制度に係る説明があった。学術面での表彰制度として、従前の学術貢献賞を二分割して日本医療薬学会賞及び学術賞を新設し、奨励賞及び Postdoctoral award は従前の通りとする。また、社会・地域あるいは教育への貢献が認められるが功績賞の選考基準には該当しない本学会への高い貢献が認められた者を対象とする表彰制度として振興賞を新設すること、続いて論文賞を含めた各表彰制度の選考規程及び内規の新設及び改正に関する説明があった。協議した結果、新設される表彰制度の設置、選考規程及び内規を一部変更した上で了承となった。なお、本規程及び内規は、2020年度の各学会賞の募集・応募より適用となる。

(8) 2020 年度各学会賞受賞候補者の募集

山本副会頭より、前協議事項での了承を受け、2020 年度の各学会賞の募集要項に関する説明があった。協議した結果、本件は了承された。

(9) 2020 年度学術小委員会の募集

山田(清)理事より、2020 年度学術小委員会の設置に係る調査研究課題の募集概要として、2019 年度と同様に公募することが説明された。協議した結果、本件は了承された。

(10) 2020 年度海外研修等助成員の募集

武田理事より、2020 年度海外研修等助成員の募集概要として、2019 年度と同様に募集を行うが、英語力を証明する書類については過去 5 年以内に受験した記録の提出を明確化(厳格化)することが説明された。協議した結果、本件は了承された。

(11) 第 34 回年会(2024 年開催)の年会長候補者の募集

井関理事より、第 34 回年会(2024 年開催)の年会長候補者の公募に係る概要の説明があった。協議した結果、本件は了承された。

(12) 薬物相互作用ガイドの公表(学術第一小委員会)

伊藤理事より、医療薬学学術第一小委員会が策定した「医療現場における薬物相互作用へのかかわり方ガイド」を会員に限らず、本学会ホームページ上に掲載して公開し、広く活用していただきたいという主旨の説明があった。協議した結果、本件は了承された。

(13) 日本臨床薬理学会からのセミナー共催依頼

議長より、日本臨床薬理学会が企画する第 3 回薬理ゲノミクスセミナーを本学会との共催で実施したいという主旨の依頼があったことが説明された。協議した結果、本依頼を承諾することとなった。

(14) 過年度会費の遡及納入に係る嘆願への対応

議長より、前年度会費の遡及の嘆願 2 件についての説明があり、協議した結果、本嘆願を了承することとなった。

(15) 事務局職員の雇用

事務局より、事務局業務を安定かつ継続的に実施するため、今年度末日をもって定年を迎える非正規職員の継続雇用に関する相談があった。協議した結果、了承された。

3. 報告事項

(1) 第 29 回年会(福岡)準備状況報告

武田年会長より、本年 11 月に開催される第 29 回年会の開催 1 ヶ月前となる現

時点での準備状況として、7,000名以上の事前参加登録があったことをはじめ、日程表を基にしたシンポジウム等の割り振り及びスケジュール等の説明、企業協賛等の申込状況等が報告された。

(2) 2020-2021年度役員候補者選挙立候補状況、選出スケジュール

崔理事より、現在、投票期間中となっている2020-2021年度役員候補者選挙について、理事候補者定数15名（内訳：病院7名、大学4名、薬局2名、その他2名）に対して立候補者数13名（内訳：病院8名、大学3名、薬局2名、その他なし）、監事候補者定数3名に対して立候補者数2名であったことより、理事候補者の病院区分のみ選任投票となり、その他の立候補区分の候補者については信任投票となったことが報告された。また、投開票の終了後、10月10日より1週間におわり本選挙の結果が本学会ホームページ上で公示されることなどのスケジュールの説明があった。

(3) 広報用リーフレット2020年度版

議長より、前回理事会での議論を受け取りまとめられた2020年度版の広報用リーフレット最終原稿が紹介された。本リーフレットは、第29回年会で配布するとともに本学会代議員らを通じて、各薬学系大学の学生（卒業生）への配布を依頼する方針が確認された。

(4) 講習会、セミナーの実施報告

井関理事より、第73回医療薬学公開シンポジウムの開催概要が報告された。

(5) 後援申請（3件）

議長より、次の3件の後援申請を受け、承諾した旨の報告があった。

- ・「日本精神薬学会 web セミナー」
- ・「第27回オンコロジーセミナー」NPO 法人がん医療研修機構
- ・「日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2020」

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は16時40分に閉会を宣言し、解散した。